2025 年度 神戸市政策会議 概要

開催日時	2025 年 9 月 2 日（火） 14 時 05 分～14 時 35 分
出席者	市長、副市長、危機管理監、危機管理局副局長、危機管理局防災企画課長、危機管理局防災企画課課長、危機管理局危機対策課長、危機管理局防災企画課係長、企画調整局長、企画調整局副局長、企画調整局政策課長、行財政局長、行財政局副局長、行財政局財務課長、経済観光局長、経済観光局副局長
議題	神戸市備蓄体制の見直し
提案概要	<p>○令和 6 年能登半島地震で顕在化した初動・応急期の課題に加え、阪神・淡路大震災後の経時的な社会情勢の変動やテクノロジーの進展等も踏まえ、特に初動・応急期にかかる本市の災害対策について、昨年度に全庁的に「総点検」を実施し、本市の災害対策の実効性確保と災害レジリエンスの強化に向けた取組を進めている。</p> <p>○「総点検」の中において、本市の備蓄体制については、地域防災計画上、総合的な備蓄体制（市民・流通・現物・救援物資）で対応することが定められているが、発生が危惧される南海トラフ地震のような広域災害では、流通備蓄や救援物資が届かないことが想定されることや、物資の搬出等を見据えた効率的かつ機能的な現物備蓄の保管場所等の確保の必要性といった課題を確認し、その対応について検討を進めてきた。</p> <p>○これら昨年度の総点検の中での検討を踏まえ、神戸市備蓄体制の見直しを以下のとおり提案し、議論した。</p> <p><新たな備蓄体制の構築></p> <ol style="list-style-type: none">① 計画的な備蓄確保と新たな管理・供給体制② 備蓄拠点の再整備③ 経済的かつ持続可能な備蓄手法④ 温食の提供体制

	<p><全市トータルでの備蓄の推進> 市の責務として備蓄する物品・数量等を「備蓄計画」として公表し、併せて市民備蓄を推進することにより、全市トータルでの備蓄を推進する。</p> <p><防災DXの推進（備蓄のDX化）> 防災DXの推進により、物資管理や運用の効率化・高度化を図り、迅速な被災者支援を実現する。</p>
<p>会議結果 (主な意見 等を含む)</p>	<p>全体の方向性については了。</p> <p>○神戸市備蓄体制の見直しについては、今後の検討・実施にあたっては、以下の点に留意すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 備蓄の有効活用について、計画的に行えるようルール化し、システムで管理すること。 ・ 備蓄拠点の再整備においては、通路や作業スペースも考慮すること。